



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和8年3月24日

第24号

けっか で ひと もくてき こうどう
結果が出る人は「目的のある行動」をしている

にん しよく にん はなし 3人のレンガ職人の話



こんねんできいご よ はてんびょう
今年度最後の四つ葉点描では、「目的を持って行動することの意味」について、書こうと思います。

ちゅうせい とあるヨーロッパの町。旅人がある町を歩いていると、汗をたらたらと流しながら、重たいレンガを運んでは積み、運んでは積みを繰り返している3人のレンガ職人に出会いました。

そこで旅人は「何をしていますのですか？」と尋ねました。

すると、その3人のレンガ職人は次のように答えました。



1人目は、

「見ればわかるだろう。親方の命令で“レンガ”を積んでいるんだよ。暑くて大変だよ」と答えました。

2人目は、

「レンガを積んで“壁”を作っているんだ。この仕事は大変だけど、給料が良いからやっているのさ」と。

3人目は、

「レンガを積んで、後世に残る“大聖堂”を造っているんだ。こんな仕事に就けてとても光栄だよ」と。

3人のレンガ職人は、それぞれ「レンガを積んでいる」という仕事は同じです。仕事の内容や役割が同じなので、賃金もほとんど変わりません。しかし、働く意識、目的意識が全く違うのです。

さて、3人の10年後は、どうなったと思いますか？

1人目は、10年前と同じように文句をいながらレンガを積んでいました。

2人目は、レンガ積よりお金の良い仕事に就きましたが、危険を伴う教会の屋根を直す仕事でした。

3人目は、建築現場の施工管理者として施工を任されるようになり、やがて、自分の店を持ちました。

それでは、これを中学生に置き換えてみましょう。

多くの生徒に勉強を教えてきましたが、成績が上がる生徒とそうでない生徒を見極める質問があります。

「今日はこれから、どんな勉強をする？」

この質問に対する回答が、やっぱり、3種類に分かれるのです。



A：「英語をやります！」と科目を教えてくれるタイプ

B：「数学の問題集を進めているので、それを3時間やります！」と勉強の量を教えてくれるタイプ

C：「この前のテストで光合成の問題ができていなかったなので、もう1度参考書で光合成の説明を読んで、その後で問題集が解けるようになると思います！」と勉強の中身を教えてくれるタイプ

このうち、成績が上がりやすい（結果が出やすい）のは圧倒的に「C」のタイプの生徒です。

AもBも、頑張った先に何があるのかを想像できていません。それだと、ただなんとなく何かをやっているだけ。でもCは、目的のために努力をしています。こういうタイプは、きちんと結果につながる努力をすることができるのです。



これは、仕事や勉強に限ったことではありません。前号で書いた、「個性を発揮する」「より良くするために行動する」というのも、恥ずかしかったり、面倒だったり、目先の損得で考えたりしてしまうこともあるでしょう。（一人目や二人目のレンガ職人と同じですね。）

目的は、あなたとみんなの安全・安心で居心地の良い学校、面白い学校づくりのためです。そして、そんな学校ができたならば、行事も授業も活発となり、みんなが全力を出せるようになり、あなたの成績もグングン伸びると思うのです。



「何のために？」という目的を大切に、Well-Beingという結果につなげてください。未来は明るい！

ねんかん
1年間ありがとうございました。4月からもご職員に

保護者・地域の皆様には様々な面でご支援ご協力をしていただき、本当にありがとうございました。多様な新しい取り組みにおいて、ご心配やご意見もおありであったかと思いますが、協力体制をつくっていただき大変助かりました。直接校長室を訪ねてくださって、励ましのお言葉をかけてくださる方もお見えになり、地域の方々の関心の高さと中学校を心配するお気持ちが身に沁みました。また、コミュニティ・スクールの委員様やPTA役員・委員の皆様、民生児童委員の皆様をはじめ、地域協力者の方々には、本校の教育活動への貴重なご意見、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

来年度も、生徒、教職員の様子や学校の思い（教育方針等）をお知らせしていきますので、「四つ葉点描」をご愛読よろしくおねがいます。HPもかんばってます。合わせてご覧ください。